



平成30年度

「新しい東北」



キッズスペースも
あります



2019. **2.17** 日
10:00~18:00

メイン会場
TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口

- ・パネルディスカッション
- ・ワークショップ
- ・ブース展示及び物産販売 など

商業施設 AER
2Fアトリウム

- ・復興へ
「今」までの歩み写真展

歩道橋でつながっているから
移動もうらく！

徒歩2分

徒歩4分

●仙台PARCO

JR仙台駅西口
2Fコンコース



各会場で
スタンプをゲット！
景品をもらっちゃおう！

・「今」を味わう
復興物産展

本イベントは東日本大震災をきっかけに被災地で生まれ、
広がった様々な取組をご紹介します

【会場のご注意事項・ご案内】

- ※ご来場時はメイン会場8F総合受付にお越しください。
- ※アンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。
- ※当日クロークのご用意がございません。貴重品はご自身で管理をお願いします。
- ※ゴミは各自でお持ち帰りください。 ※会場内は全館禁煙となります。
- ※本交流会はマスコミオープンです。
- ※会場内で撮影した映像・写真は公開される可能性があります。

詳しい内容はサイトでご確認ください

新しい東北 交流会



会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口8F / AER 2Fアトリウム / JR仙台駅西口2Fコンコース
10:00~18:00 ※一部7F会議室 10:00~19:00 10:00~19:00

お問い合わせ先

JTB(「新しい東北」交流会事務局)
TEL: 03-6737-9281
MAIL: nt-info@jtb.com

主催

「新しい東北」官民連携推進協議会(事務局:復興庁)

後援

岩手県、宮城県、福島県、仙台市

メイン会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口8F

東北で活躍する企業・NPOなどの活動を知りたい方は…

13:15 - 顕彰式典

復興庁主催の平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰、企業による復興事業事例の受賞者の顕彰式典を行います。



13:50 - 14:40 - 活動紹介

「新しい東北」復興・創生顕彰、企業による復興事業事例、「新しい東北」復興ビジネスコンテスト受賞者による活動紹介です。



シンポジウム

16:30 - 被災地を盛り上げるクラウドファンディング

見る・学ぶ・味わう! ブース展示

被災地の企業、NPOなどの取組を紹介するブース展示を行います。活動紹介や商品の展示、被災三県の物産展など、「見て、学んで、味わえる」展示となっています。

- 防災VR体験コーナー
- 動画作成講座
- 雄勝花物語ワークショップ
- 東北のアンテナショップも出店!!



子供も喜ぶ、東北体験イベント

事前申込不要

お子様と一緒に、ご家族で東北の様々な文化に触れてみませんか。



10:30 - 南三陸杉で作るスプーン、フォークづくり講座

13:00 - 南三陸の木のおもちゃで子供と遊ぶ

14:10 - 東北の文化を体験しよう! わら細工体験

15:35 - 食育について知ろう! 味噌玉と玄米おにぎりづくり など



被災地で地域づくりに取り組まれている方々の活動をワークショップやシンポジウムにてご紹介します。

13:00 - 伝統工芸2.0 大堀相馬焼が挑戦する継承の仕組みづくり

高校のない小さな町を「人生の学校」に変えていく



14:10 - おでかけソンから広がる、地域の楽しい移動

石巻発! 東京ローカルと共創する食品マーケティング



15:30 - 地域づくりサミット など

被災地で地域づくりに取り組む方々が、地域を担う若い世代と共に、東北の「いま」と「これから」について語り合います。



※プログラムは予告なく変更になる可能性があります。最新の情報は、「新しい東北」ポータルサイト上でお知らせします。※一部参加者有料のイベントもございます。※ワークショップ等の事前申し込みなどはございません。当日会場で受付となります。先着となりますので、満席のため参加頂けない場合もございます。観覧のみも可能です。

10:00-19:00

復興へ「今」までの歩み写真展

震災から復興への歩みを写真で振り返ります。17日(日)には一部の展示写真への投票イベントも行います。



AER 2Fアトリウム

10:00-19:00

「今」を味わう復興物産展

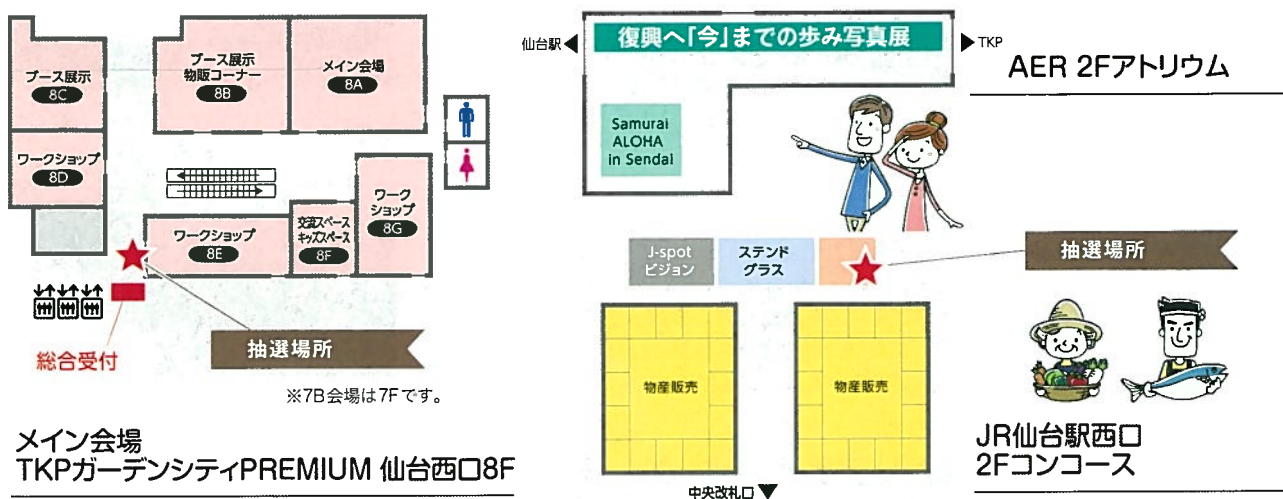
復興庁が支援している企業の成果物などをご紹介しますとともに、販売いたします。



JR仙台駅西口2Fコンコース

タイムスケジュール

	8A	8B/8C	8D	8E	8F	8G	7B	AER	JR 仙台駅
10:00							多様な視点からの復興の取組事例発表		
11:00			スプーン、フォーク作り講座						
12:00									
13:00									
14:00	活動紹介・顕彰式典		子供と遊ぶワークショップ	大堀相馬焼作陶結果とロードマップ発表会	交流スペース	高校のない小さな町を「人生の学校」に変えていく		復興へ「今」までの歩み写真展 Samurai ALOHA in Sendai	「今」を味わう復興物産展
15:00			わら細工体験!	おでかけソングから広がる、地域の楽しい移動	どなたも入れる交流の場、キッズスペースもあります。	石巻発! 東京ローカルと共創する食品マーケティング	ボランティア交流会		
16:00	地域づくりサミット		食育について知ろう!	親子で楽しめるワークショップ 第三部		親子で楽しめるワークショップ 第一部			
17:00				被災地を盛り上げるクラウドファンディング		親子で楽しめるワークショップ 第二部			
18:00									
19:00									



豪華景品の当たる抽選に参加できるスタンプラリーや、東北のご当地キャラクターが登場!!
3会場をまわって、「新しい東北」を体験しよう!



©わんこきょうだい



むすび丸



©福島県

被災地で進む「新しい東北」の創造に向けた取組について、大きな貢献をされている方を顕彰します。

受賞者

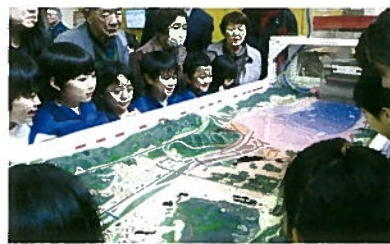
一般社団法人 三陸ひとつなぎ自然学校

がれき清掃などで全国から集まるボランティアのコーディネート活動を平成23年3月よりスタート。1年間の活動を経て平成24年に団体を設立。釜石の復旧・復興のため、多くのボランティアや支援団体とともに、ボランティアツーリズムや子どもたちの居場所づくりを始めとした様々な活動に取り組んできた。現在は、次世代を担う子どもたちが生まれ育った地域と関わることで郷土愛を育み、誇りを持って住み続けられる地域の実現を目指し、子どもが主体となって企画から運営まで行うコミュニティイベント「かまっこまつり」の実施や、地域の課題にチャレンジする人材の育成に取り組む。地域資源にスポットを当てた体験プログラムやイベント、研修やインターンシップのコーディネートなどを通して釜石内外のあらゆる主体をつなぎ、関係人口の創出にも貢献している。



岩手県立宮古工業高等学校

地元の防災意識を向上させるため、平成17年から津波模型を作成し、震災発生時のシミュレーションを実演。工業高校ならではの高い技術力を駆使して製作した模型を用いた津波実演シミュレーションは、口伝や座学では得ることが難しい「実感」を伴った疑似体験をもたらし、防災意識の向上に大きな役割を果たしている。東日本大震災以降は、津波災害への関心の高まりを受け、全国で出前講演を行っているほか、海外からの見学受け入れなど、より広範に活動を展開している。



特定非営利活動法人 S E T

東日本大震災をきっかけに被災地支援を目的に設立され、陸前高田市広田町を拠点に「人口が減るからこそ豊かになるまちづくり・ひとづくり」に取り組んでいる。「『やりたい』が『できた』に変わる町」に変化させていく「まちづくり」と、自分らしく生きる人材を広く育てていく「ひとづくり」を目指し、民泊事業、地域人材のキャリア教育、地域おこし実践プログラム、移住留学の4つの事業を展開。地域内外の人材交流を促進し、年間約1,500人の交流人口を生み出しているほか、町に移住・定住する若者も増え続けている。



一般社団法人 ReRoots

東日本大震災後、仙台市の各大学に通学する大学生が中心となり、ボランティアの運営組織を行うサークルとして発足。「復旧から復興へ、そして地域おこしへ」を掲げ、農村地域である若林区にて、農家の生活再建、コミュニティの再生、地域資源を活用した魅力発信と人の往来の促進による持続的な農村づくりに取り組んでいる。農業の新たな担い手育成にも取り組み、農家との交流を通じた農業の課題や地域の課題の把握をすることで、若者の農業への関心を引き出すことや、農業を志す若者を育成することを目指している。



特定非営利活動法人 つながりデザインセンター・あすと長町

東日本大震災後の仮設住宅、災害公営住宅などで自治運営やコミュニティ形成などの支援活動を展開してきた住民グループ、NPO、大学研究室などがネットワークを構築して設立。仮設住宅初期からコミュニティ形成に関わり、公営住宅移行期にもそのコミュニティを継続させるなど、復興の段階に合わせた支援を行ってきた。地域におけるヒト・モノ・コトのゆるやかな「つながり」を「デザイン」というコンセプトの下、地域住民が集える居場所である「あすと食堂」などを運営し、一人ひとりが主役になれる住まい・まちづくりに取り組んでいる。



特定非営利活動法人TEDIC

東日本大震災発生後の平成23年3月から故郷の石巻市にボランティアとして入り、避難所において子どもたちの居場所づくりや学習支援活動を開始。石巻市・東松島市・女川町の子ども・若者を対象としたワンストップの総合相談窓口「石巻圏域子ども・若者総合相談センター」を運営し、夜の居場所づくりやフリースクールなど生活困窮世帯や不登校等の子ども・若者への支援を中心とする事業を展開し、官民協働による包括的な支援体制の構築及び、地域づくりに取り組む。どんな境遇のもとに生まれた子ども・若者でも、「自分の人生を、自分で歩む」ことが出来る地域社会をつくるため活動している。



南三陸ホテル観洋

平成23年から希望する方を対象に、スタッフがガイドを務める「語り部バス」を毎朝運行。東日本大震災の記憶と教訓の風化防止に努めている。「語り部バス」では、ガイドがそれぞれの体験談を交えて南三陸町内の被災跡を案内し、これまで約35万人以上が乗車。震災遺構・高野会館の内部を案内するコースも設けており、教育旅行ではこれまで540校以上で震災学習・防災学習の機会を作り、次世代への伝承や地域交流のもとになっている。また、全国各地で語り部活動を行うことや、語り部の連携を深めるフォーラムを開催することで、南三陸への訪問につなげ、地域ににぎわいや交流を生み出し、観光振興や地域活性化にも繋がっている。



一般社団法人ふくしま逢瀬ワイナリー

フルーツ王国である福島県の果樹農業の六次産業化を目指し、平成27年にワイナリー（醸造所）を竣工。福島県産果実の生産・加工・販売を一貫して行う新たな事業モデルの構築を進めている。契約農家は当初4軒だったが、郡山市の協力の元、技術指導を行い、13軒に拡大。平成28年からは、福島県産のリンゴ、桃、梨を生かした果実酒やリキュールを出荷し、ワイン用葡萄の栽培にも挑戦している。また、ワイナリー内にワインショップやセミナールームをオープン。福島県の産業や人を繋ぐ拠点となることを目指している。福島大学とも連携し、農業分野に興味を持つ未来の担い手を育成する講座も実施している。



特定非営利活動法人J i n

仮設住宅等に入居する障害者や高齢者とともに、農業を開始。人口が減少した旧避難指示区域における農業の再開と高齢者・障害者等の自立の両立の推進を行っている。平成25年に浪江町で花き（トルコギキョウ）の栽培を開始し、平成26年には同町で震災後初となる出荷が行われた。「浪江発の日本一の農作物を作りたい」という目標を掲げ、試行錯誤を繰り返しながら日々励んでいる。



特定非営利活動法人ビーンズふくしま

不登校の子どもや引きこもりの青少年のために、生き方や学習を支援することを目的に1999年にフリースクールから活動を開始。東日本大震災発生後は、そのノウハウを活かして仮設住宅での子どもの居場所づくり、県外避難者親子の支援などにあたっている。コミュニティのアプローチとして、これまでの学習・体験に加え「遊び」を通した「心のケア」の視点も加えながら丁寧で接続可能な受け皿を目指し活動している。



「新しい東北」復興・創生顕彰とは

東日本大震災の被災地では、震災前から人口減少や産業の空洞化など、様々な課題を抱えています。復興庁では、これら地域の課題を解決し、自律的で持続的な地域社会を目指す取組を「新しい東北」の創造に向けた取組と呼び、事業支援や交流の場づくりなど、様々な施策を実施しています。こうした施策の一つとして、「新しい東北」の創造に向けた取組において、大きな貢献をされている方々の活動を顕彰するとともに、広く情報発信し、被災地内外への普及・展開を図ることを目的として、平成28年度から「新しい東北」復興・創生顕彰を実施しています。



被災地の事業者による新たな挑戦や課題の克服の取組をまとめた「岩手・宮城・福島産業復興事例」から、特に産業復興のモデルとなることが期待される事例を顕彰します。

受賞者

重茂漁業協同組合 (岩手県宮古市)

漁業

～被災地での再生～

やまさき よしひろ

代表理事組合長 **山崎 義広** 氏

船の共同利用や借入金の組合での一括管理など、被害状況や年代にかかわらず公平な復興を目指した姿勢は、個々人の事業が軸となる組合運営という観点から参考とされるべき事例である。



ミネックス株式会社 (岩手県釜石市)

製造業 (肥料等製造)

～新分野進出～

よしだ のりお

代表取締役会長 兼社長 **吉田 典雄** 氏

多くの被災地企業が直面する「被災地外や中国企業にシェアを奪われる」という苦境に陥りながらも、肥料の製造に携わる各社が連携する共同体制を構築し、新商品の開発によって乗り越えたことは、他事業者の参考となる事例といえる。



ひたかみ

日高見の国 (宮城県石巻市)

製造業 (水産加工業)

～海外進出・観光誘致～

すえなが かんた

代表 **末永 寛太** 氏

カキ、ホヤなどの加工品を海外に輸出する取り組みに着手し、モデルケースとなった。森をつくることで海に栄養分を行き渡らせるため、NPOと連携して植林事業を行うなど、地域全体を視野に入れた取り組みも展開している。



宮城県漁業協同組合志津川支所 戸倉力キ部会

(宮城県本吉郡南三陸町) 漁業 (力キ養殖)

～社員の働きがい～

ごとう きよひろ

部会長 **後藤 清広** 氏

東日本大震災でかき養殖のためのいかだが全て流されたが、再出発にあたり、いかだを1/3に減らして過密養殖を解消。漁獲量は減ったものの、質が良くなったことで単価が上昇。労働時間を削減し、若手の漁業者も増加するなど好循環を生む先行事例となった。



農事組合法人 いわき菌床椎茸組合

(福島県いわき市) 農業 (シイタケ製造)

～社員の働きがい～

わたべ あきお

代表理事 **渡部 明雄** 氏

福島第一原子力発電所の事故後、出荷停止や根強く残る風評被害により苦境に陥るも、厳しい安全基準と独自の生産方法、新たなマーケットの開拓により、200tだった生産量を1,000tにまで拡大。地域雇用にも継続的に貢献している。



林精器製造株式会社 (福島県須賀川市)

製造業 (機器設計製造)

～新分野進出～

はやし あきひろ

代表取締役社長 **林 明博** 氏

大手精密機器メーカーから生産を受託するウォッチケースの製造などの基幹事業で培った高い技術力をベースに成長分野である医療機器、ロボット分野へ進出。2013年に設立した新工場はフル稼働に近い水準まで回復し、業績はリーマンショック前の水準まで戻った。



「岩手・宮城・福島産業復興事例」とは

被災事業者の再生の道しるべとするため、復興庁では平成24年度より、被災地企業の先導的・創造的な事例を収集した「企業による復興事例集」を作成しています。平成30年度は、「被災地での再生・被災地への進出」、「海外進出・観光誘致」、「新分野進出」、「地域振興・スポーツ振興」、「社員の働きがい」のカテゴリで、岩手・宮城・福島の被災三県から各10社、合計30社掲載しています。

※こちらの事例集は交流会会場で配布しています。



発表者

「新しい東北」復興・創生顕彰 受賞者

- 一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校 代表理事 **伊藤 聡** 氏
- 岩手県立宮古工業高等学校 代表 **奥村 祥樹** 氏
- 特定非営利活動法人SET 代表理事 **三井 俊介** 氏
- 一般社団法人ReRoots 代表 **広瀬 剛史** 氏
- 特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町 副代表理事/東北工業大学・准教授 **新井 信幸** 氏
- 特定非営利活動法人TEDIC 代表理事 **門馬 優** 氏
- 南三陸ホテル観洋 第一営業 次長 **伊藤 俊** 氏
- 一般社団法人ふくしま逢瀬ワイナリー 代表理事 **森山 潤三** 氏
- 特定非営利活動法人Jin 代表 **川村 博** 氏
- 特定非営利活動法人ビーンズふくしま 事務局長 **中鉢 博之** 氏

発表者

企業による復興事業事例顕彰 受賞者

- 重茂漁業協同組合 代表理事組合長 **山崎 義広** 氏
- ミネックス株式会社 代表取締役会長兼社長 **吉田 典雄** 氏
- 宮城県漁業協同組合志津川支所 戸倉力太郎 会部会長 **後藤 清広** 氏
- 農事組合法人いわき菌床椎茸組合 代表理事 **渡部 明雄** 氏
- 林精器製造株式会社 代表取締役社長 **林 明博** 氏

「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018 受賞者

- KUMIKI PROJECT 株式会社 代表取締役 **桑原 憂貴** 氏
- 広田湾遊漁船組合 事務局長 **鍛冶川 直広** 氏
- 一般社団法人手づくりマルシェ 代表理事 **齋藤 幸子** 氏
- 古河電池株式会社 **小出 彩乃** 氏

「新しい東北」 復興ビジネスコンテストとは

被災地の産業復興に向けた地域産業創出の機運醸成を図ることを目的に、平成26年度から開催しているコンテストです。被災地における地域産業の復興や地域振興に資する優良な取組を発掘し、その発展や事業化、被災地内外へのPRを支援しています。



震災から7年半超が経過した今、被災地が抱える課題にどう向き合い、どのような展望を描いて課題解決に取り組んできたのか。「地域づくり」における現場の最前線で活動する方々の取組を紹介することで、幅広い方々に東北の「今」を知っていただき、今後の「新しい東北」について考えるきっかけとなることを目指し開催します。

登壇者



花坂 雄大 氏

宮古観光創生研究会 代表 / 花坂印刷工業株式会社 代表取締役
NPO法人みやっこベース 理事長 / 三陸王国宮古イカ王子 広報大臣
宮古観光文化交流協会 理事

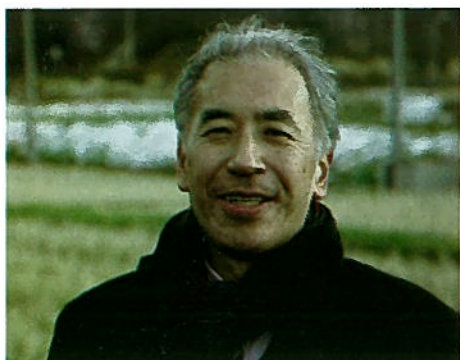
岩手県宮古市出身。家業の印刷会社を経営する傍ら、宮古市の観光振興の方向性を検討するために平成27年に宮古観光創生研究会を設立。地域の若手有志12名(平均年齢31歳)と、様々な活動を行っている。



佐山 春 氏

株式会社日々旅 ゲストハウス3710 マネージャー

千葉県出身。(千葉→秋田→仙台→東京)と転々とする。2017年9月岩手県宮古市へ移住。大学時は教育学を専攻。東日本大震災をきっかけに宮古市に訪れる。ゲストハウスを運営する傍ら、過疎化地域でのお祭りの開催や街歩きツアー等、地域を面白がるイベントの企画運営を行っている。



二瓶 晃一 氏

小町温泉組合 代表 / まちづくり office こまち vision 代表
小野町観光協会 会長

四代続く温泉旅館「磐山荘瀆太屋」を営む傍ら、小野小町をシンボルとした地域のPR活動、タウン誌刊行、郷土誌執筆、地域劇団立ち上げ、地元中学・高校での地域学習の非常勤講師など、一貫して福島県小野町の地域活性化に取り組む。



穴戸 開 氏

小野町地域おこし協力隊

2018年1月に福島県小野町の地域おこし協力隊に就任。
ミッションは農産物のPR、6次化商品の開発検討、
直売所を活動拠点としてイベントの企画・実施を行う。



吉澤 武彦 氏

一般社団法人日本カーシェアリング協会 代表理事

兵庫県姫路市出身。立命館大学政策科学部政策学科を卒業後、大阪で6年間会社勤めをした後、本格的に社会活動に従事。平和や環境に関する様々なプロジェクトに取り組む。震災後、一般社団法人日本カーシェアリング協会を設立し石巻で取組を続ける。

ファシリテーター



成宮 崇史 氏

気仙沼まち大学運営協議会 チーフコーディネーター
NPO 法人底上げ 理事

児童養護施設、飲食店勤務を経て、震災後2011年8月に単身ボランティアとして気仙沼に入り、そのまま移住。NPOの活動で市内の教育の魅力化を推進しながら、気仙沼まち大学運営協議会では様々な機関や団体と協働して人材育成のプラットフォーム作りに努めている。

地域づくりハンズオン支援事業とは？

東日本大震災の被災地が抱える地域課題を解決するため、新たな取組に挑戦するNPOや自治体等が、自律的に取組を継続(「自走」)することを目指して、復興庁と専門家が1年間にわたり「三人四脚」で伴走支援をします。地域の担い手育成、地域資源の活用、交流人口拡大など、地域の抱える課題に応じて、実情に合わせた支援を提供します。ハンズオン支援の対象となった団体(支援対象団体)と専門家・復興庁が中心となって、地域内の住民・行政・NPOや、地域外の団体・関係人口※1・様々な知見を持つ外部のパートナーと連携する体制を構築し、ともに課題解決に取り組めます。



本シンポジウムの流れ

■ 地域づくりの取組報告

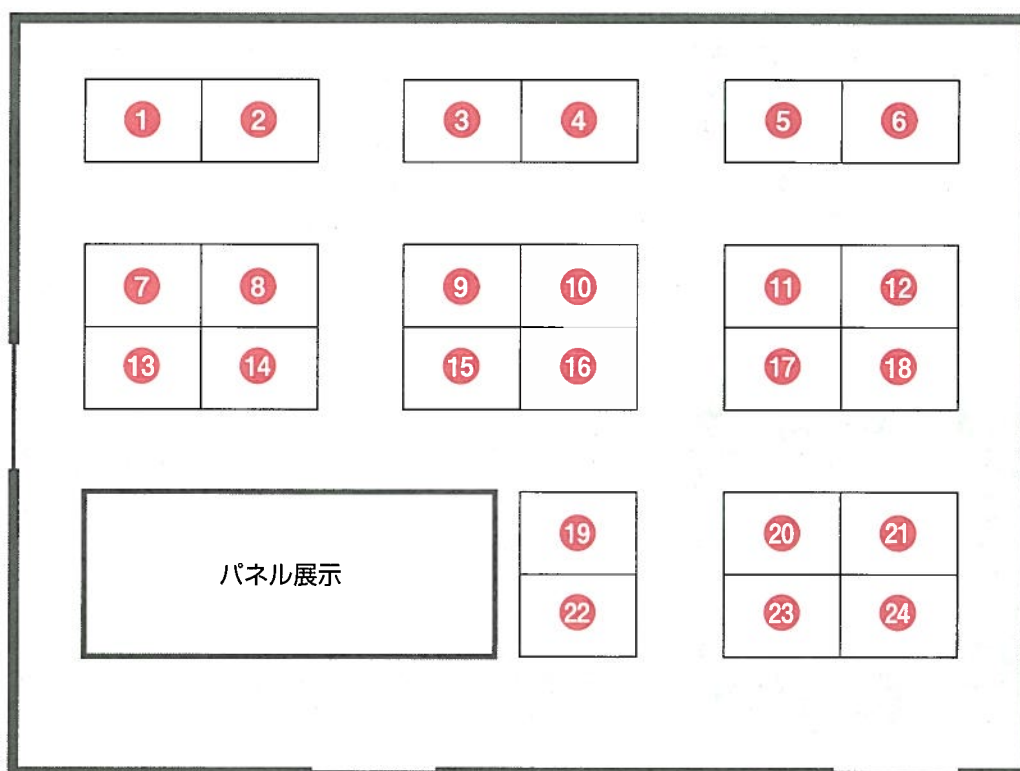
- ・ 小町温泉組合 [福島県小野町]
- ・ 宮古観光創生研究会 [岩手県宮古市]
- ・ 一般社団法人日本カーシェアリング協会 [宮城県石巻市]

■ ディスカッション

- ・ 地域づくりを進めるうえでの課題
- ・ 今後の地域づくりの展望

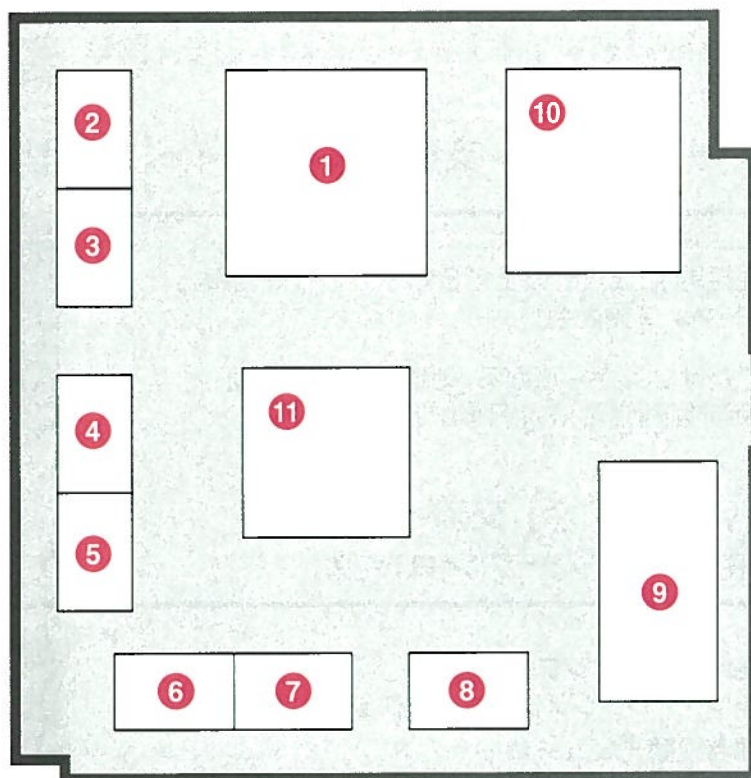
※1:「関係人口」は、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々を指す。

「見る・学ぶ・味わう！ブース展示」と題し、主に「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018の受賞者や、復興庁が支援している被災事業者などのブースをご覧いただけます。



No.	ブース名	No.	ブース名	No.	ブース名	No.	ブース名
1	岩手県産株式会社	7	福島観光物産館	13	重茂漁業協同組合	19	イシノマキ・ファーム
2		8		14	大七酒造	20	三菱商事復興支援財団
3	宮城県	9	広田湾遊漁船組合	15	ニケ・ウイング	21	復興庁クラウドファンディング支援事業
4		10	手づくりマルシェ	16	仙台農業協同組合	22	石巻市農業担い手センター
5	復興庁 産業復興事例集	11	古河電池	17	信陵建設	23	SDGsとうほく
6	復興庁 企業連携班	12	KIBOTCHA	18	イオン株式会社 心をつなぐプロジェクト	24	

「見る・学ぶ・味わう！ブース展示」と題し、主に「新しい東北」復興・創生顕彰の受賞者など、震災をきっかけに芽生えた取組をご覧いただくとともに、被災事業者による体験ブースなどもご用意しております。



No.	ブース名	No.	ブース名
①	NECソリューションイノベーター	⑦	佐貞商店
②	・三陸ひとつなぎ自然学校 ・岩手県立宮古工業高等学校	⑧	移動支援 Rera
③	・ReRoots ・つながりデザインセンター・あすと長町	⑨	雄勝花物語
④	・南三陸ホテル観洋 ・ふくしま逢瀬ワイナリー	⑩	南三陸復興ダコの会 ウッドプレート作りワークショップ
⑤	・ビーンズふくしま ・「新しい東北」復興・創生顕彰	⑪	段ブロック体験
⑥	日本カーシェアリング協会		

生物多様性を学べるウッドプレートを作ろう！（南三陸復興ダコの会）



8D

フワード

Fw:東北Weekly 子供も喜ぶ東北体験イベント

参加券必要

10:30-12:00 「南三陸杉で作るスプーン、フォークづくり講座」

13:00-14:00 「南三陸の木のおもちゃで子供と遊ぶ」

14:10-15:25 「東北の文化を体験しよう！わら細工体験」

15:35-16:20 「食育について知ろう！味噌玉と玄米おにぎりづくり など」

※参加には参加券が必要となります。参加券はメイン会場8階総合受付にて配布します。



8E

地域づくりハンズオン支援事業(共創イベント型)交流イベント

13:00-14:00 「大堀相馬焼 浪江町の土で8年ぶりの作陶結果とロードマップ発表会」

14:10-15:10 「おでかけソンから広がる、地域の楽しい移動
-特定非営利活動法人 Rera-」

8E

「なりわいをむすぶ」交流イベント
親子で楽しめるワークショップ

参加券必要

第三部

- 15:20-16:20 ●福島県川俣町アンスリウムの
フラワーアレンジメントワークショップ | 定員 30名 |
- 会津若松観光ビューロー
赤べこ絵付け体験 | 定員 15名 |

※参加には参加券が必要となります。参加券はメイン会場8階総合受付にて配布します。



8E

被災地を盛り上げるクラウドファンディング

16:30-17:30

クラウドファンディングによって得られるものとは？成功の秘訣は？本事業で実際にクラウドファンディングを利用して資金調達に成功した事業者などをお呼びして、直接体験談を伺います。クラウドファンディングに関心のある皆さまにとって大きな学びを得る場となればと考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

登壇者

コメンテーター

小笠原 隼人氏 エフライフ 代表取締役社長

パネラー

亀山 貴一氏 (一社)はまのね 代表理事

遠藤 清也氏 山猿選手権 平館 豊氏 三陸聖地化委員会 議長

8G

高校のない小さな町を「人生の学校」に変えていく
～ローカルでの新しい学びのカたち・国見ホイスコーレの取組～

13:00-14:00

福島県国見町。高校や大学のない小さな町を、福島県内外から訪れた人の学びの場とするための挑戦について、町を訪れている若者の生の声も交えて紹介いただきます。

モデレーター

八島章氏 国見町企画情報課 総合政策室 主任主査兼室長



8G

共創でヒットを生む食の地域ブランドの育て方 ～「石巻金華茶漬け」5万食ヒットの秘訣を探る～

14:10 - 15:10

「石巻発！ 東京ローカルと共創する食品マーケティング
-石巻うまいもの株式会社-」



8G

「なりわいをむすぶ」交流イベント 親子で楽しめるワークショップ

参加券必要

第一部

15:20 - 16:20

●橋本仏具店 塗り箸研ぎ出し体験 | 定員 10名 |

●ロッツ 健康体操体験 | 定員 10名 |

●ササキプラスチック

プラスチックで人形作り体験 | 定員 10名 |

第二部

16:30 - 17:30

●土湯温泉こけし工房 土湯こけし絵付け体験 | 定員 15名 |

●ロッツ 健康体操体験 | 定員 10名 |

●ササキプラスチック

プラスチックで人形作り体験 | 定員 10名 |



※参加には参加券が必要となります。参加券はメイン会場8階総合受付にて配布します。

7B

東日本大震災における多様な視点からの 復興の取組事例発表 ～今後の災害へ活かすために～

9:30 - 11:30

東日本大震災における多様な視点（女性、子ども、障害者、外国人等）からの復興の取組事例を共有し、東日本大震災におけるNPO等支援者の活動を振り返るとともに、今後起こりうる災害へ東日本大震災からの復興の知見を活かすために開催します。

9:30 - 10:25

調査研究発表① 政策調査官 上吉原良実氏

テーマ：東日本大震災の教訓を活かした防災・減災教育の取組

～地域と医療の連携や多様な視点の重要性を踏まえて～

10:30 - 11:25

調査研究発表② 政策調査官 松浦 千恵氏

テーマ：自らの力を取り戻す復興支援の必要性

～子ども・若者、女性の現状課題と今後～

登壇者

上吉原良実氏

小児救急看護認定看護師、医療的ケア教員。平成12年に看護師免許を取得後、小児成人の救命センターや集中治療室に勤務。平成28年より現職。東日本大震災をきっかけに災害医療に携わり、熊本地震・西日本豪雨災害でも災害医療支援活動を行う。現在も、国内で行政・医療関係者へ災害対応に関する研修会講師や講演など教育活動を行っている。

松浦 千恵氏

宮城県石巻市生まれ。乳幼児教育学が、旅行会社に就職し多様な人々と関わる。長男3歳で、両立の壁により退社。国内外での子育てを経て「脳(心)を育む教室」の講師となる。東日本大震災発災時、福島県の避難所ボランティアを経験し、現在、仕事と介護の両立とともに福島県の児童養護施設支援も行う。

東日本大震災に関わるボランティアについて、発災後、減少傾向が続いています。復興の進展とともに、被災地の課題も変化していますが、高齢化、人口減少が顕在化する中、産業・生業の再生、地域づくりの推進のためには地域外の人材を呼び込むことが重要とされてきています。このような中、これまでボランティアやボランティアに関わるコーディネーターとして被災地に関わった方々にお集まりいただき、これまでのボランティアを振り返り、今後はどうあるべきか、何が必要かを考え、今後の更なる被災地での交流・復興のきっかけとなることを目指し開催します。

テーブルA 教育機関(大学)セッション

キーワード/社会参画・大学間ネット・世代交代等

パネリスト	八重 樫綾子 氏 特定非営利活動法人いわてGINGA-NET	
	其田 雅美 氏 東北学院大学災害ボランティアステーション	鈴木 典夫 氏 福島大学行政政策学類
進行	天野 和彦 氏 福島大学うつくしまふくしま未来センター	
企画担当	大吹 哲也 氏 特定非営利活動法人いわて連携復興センター	

テーブルB 社会福祉組織(社協)セッション

キーワード/災害ボラセン・災害時対応・地域福祉等

パネリスト	齋藤 穰 氏 岩手県社会福祉協議会	
	北川 進 氏 宮城県社会福祉協議会	佐藤 めぐみ 氏 福島市社会福祉協議会
進行	真壁 さおり 氏 宮城県サポートセンター支援事務所	
企画担当	小林 庄次郎 氏 一般社団法人ふくしま連携復興センター	

テーブルC 非営利組織(NPO)セッション

キーワード/復旧復興支援・関係人口・社会課題解決等

パネリスト	多田 一彦 氏 特定非営利活動法人遠野まごころネット	
	藤間 千尋 氏 公益社団法人みらいサポート石巻	吉田 恵美子 氏 特定非営利活動法人ザ・ピープル
進行	葛巻 徹 氏 特定非営利活動法人いわて連携復興センター	
企画担当	瀬川 加織 氏 特定非営利活動法人いわて連携復興センター	

テーブルD 営利組織(企業)セッション

キーワード/CSR・SDGs・CSV等

パネリスト	池田 亮 氏 岩手県生活共同組合連合会	
	濱田 寛 氏 富士通エフサス株式会社	佐々木 亮 氏 株式会社NTTドコモ
進行	三浦 隆一 氏 特定非営利活動法人ジャパンプラットフォーム	
企画担当	高橋 若菜 氏 一般社団法人みやぎ連携復興センター	

総括

コメンテーター 田村 太郎 氏 復興庁復興推進参与/一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

AER 2Fアトリウム

10:00 - 19:00

「復興へ「今」までの歩み写真展」と題し、東日本大震災から復興への歩みを写真で振り返ります。

【復興への歩み】震災前後のまちなみをご覧ください、復興への歩みをご紹介します。展示している写真は、復興庁「デジタルアーカイブ」サイト「つちおと情報館」から引用しています。

【故郷を照らす希望の光】被災地で撮影された日々の写真をご紹介します。なお、展示している写真は、Yahoo! JAPANが提供するアーカイブサイト「東日本大震災写真保存プロジェクト」から引用しています。

【取組紹介】平成30年度「新しい東北」復興・創生顕彰の受賞者と、復興庁の平成30年度地域づくりハンズオン支援事業の支援団体の活動を、それぞれ写真でご紹介します。17日(日)10:00~17:30は、これら取組紹介写真への投票も受け付けております。



●Samurai ALOHA in Sendai

東北の着物をアロハシャツに再生するブランド「Samurai ALOHA in Sendai」の特設イベントが行われます。

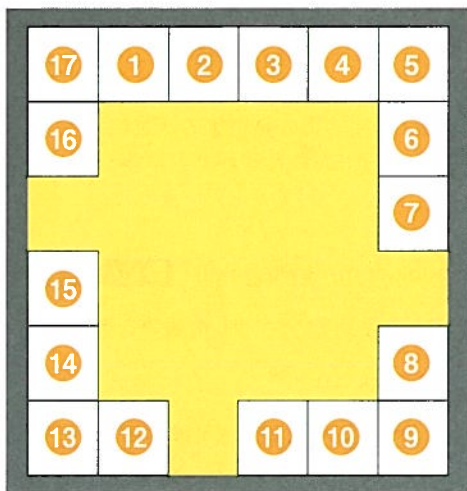
●オリジナル・サムライ・タンブラーを作ろう! ワークショップ@AER

(随時受付 材料費500円)場所/サムライアロハ特設ステージ

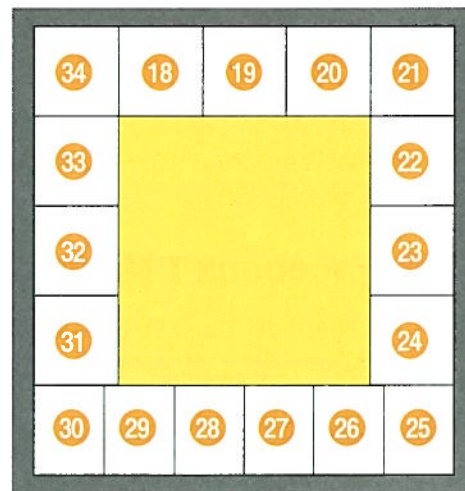
JR 仙台駅西口2Fコンコース

10:00 - 19:00

「今」を味わう復興物産展を開催！「今」の東北を是非ご堪能ください！



中央改札口 ▼



No.	ブース名	No.	ブース名	No.	ブース名	No.	ブース名
1	南三陸復興ダコの会	10	カイタク商店	18	デ・リーフデ北上	27	東北風土マラソン&フェスティバル
2	マルセン食品	11	マルニ食品	19	石巻うまいもの株式会社	28	東松島あんでなしょっぷまちんど
3		12	ダイナまいまい工房	20	ねっか	29	
4	ふくしま農家の夢ワイン	13	御菓子老舗ひろせ	21	Samurai ALOHA	30	大堀相馬焼
5	ひころいちファーム	14	かたつむり	22		31	
6	仙台農業協同組合	15	手づくりマルシェ	23	陽と人	32	宮古観光創生研究会
7	岩手県産株式会社	16	くりはらファーマーズプロジェクト	24		33	
8	梅羊かん本舗せとや	17	東北と台湾を双方でつなく仙台湾隊	25	ももがある	34	
9	ひろしま屋			26	小町温泉組合		

東北の「今」を知ろう スタンプラリー

3つの会場をまわって
シールを集めよう！

抽選で
「東北の今を知る」
グッズを
プレゼント！！



「新しい東北」交流会開催会場のワークショップへの参加や、
物産コーナーでのお買い上げでもらえるシールを集めよう！



メイン会場
TKPガーデンシティ
PREMIUM 仙台西口8F

・ワークショップ
・ブース展示及び物産販売など

AER 2Fアトリウム

・復興へ
「今」までの歩み写真展

JR仙台駅西口2Fコンコース

・「今」を味わう復興物産展

参加 自由 / どなたでもご参加いただけます。
お一人様につき、1回参加いただけます。

景品はこちら！

- 1等 | 福島県 | 大堀相馬焼
ベアカップ
- 2等 | 宮城県 | 東松島のリうどん
乾麺セット
- 3等 | 宮城県 | 石巻マルシェ
金華茶漬け3個セット
- 4等 | 福島県 | 小野町 めれ花豆
- 5等 | 宮城県 | あまぎけ初恋さくら
- 6等 | 岩手県 | ひころいちファーム
米粉スナック



参加賞
「新しい東北」
オリジナルクリアファイル

「新しい東北」官民連携推進協議会からのお知らせ

◆ 会員情報の掲載・プレスリリースを実施中！

新しい東北



会員の皆様から寄せられた支援制度、イベント情報、調査結果・研究結果の発表等の活動情報を、協議会からプレスリリースします。情報は随時受け付けておりますので、ご希望があれば事務局まで御連絡ください。

◆ Facebookで情報発信中 (<https://www.facebook.com/newtohoku>)

f いいね!

Facebookでも、協議会の活動情報や、復興庁・会員の皆様の支援制度、イベント情報等を発信しています。ぜひ「いいね!」をお願いいたします。

協議会メールマガジン 読者募集中！

復興庁や協議会会員の復興に関するイベントやセミナーなどの情報を、毎週水曜日にお届けいたします。

◆ どなたでもメールマガジンへのご登録ができます (協議会会員でない方も登録可能です)



◆ 登録方法

登録をご希望の方は、以下のQRコードからアクセスいただき、必要情報をご記入の上、件名を「登録希望」としたまま、newtohoku@nes.jp.nec.com までメールをお送りください。

▼メルマガ登録 説明ページ

(「新しい東北」官民連携推進協議会 HP 内)

<https://www.newtohoku.org/mailmagazine.html>



問合せ先

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局 (NECソリューションイノベータ株式会社)

E-mail: newtohoku@nes.jp.nec.com TEL: 0570-000329 (土日祝除く)

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/> Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

※「新しい東北」交流会に関するお問い合わせは以下をお願いします。

「新しい東北」交流会事務局 (株式会社 JTB) 担当 日高、太田、高橋

e-mail: nt-info@jtb.com

TEL: **03-6737-9281** (受付時間: 9時30分～17時30分 土日祝除く)

※「新しい東北」官民連携推進協議会の運営は「NECソリューションイノベータ株式会社」が、
交流会の事務局運営は「株式会社 JTB」がそれぞれ復興庁より受託しております。